

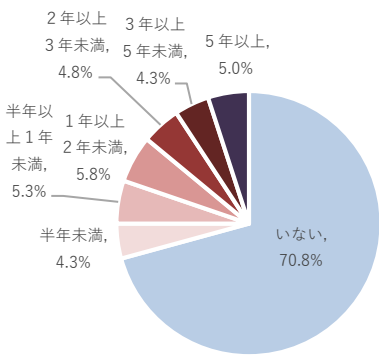
「貯蓄の日に関するアンケート調査」を発表
自分の結婚のために貯蓄している人は約4割
 ～結婚相手に求める貯蓄額は、男性「特にない」54.5%だが、
 女性は「特にない」と「500万円以上」求める人がそれぞれ約3割と分かれる～

ワタベウェディング株式会社【本社：京都府京都市、資本金41億7,637万2,000円、東証第一部上場、代表取締役 花房伸晃】は、10月17日が「貯蓄の日*」であることから、結婚を希望している独身男女400名に「結婚と貯蓄に関するアンケートを実施しました。以下に結果をご報告します。（「貯蓄の日に関するアンケート調査」インターネット調査／調査期間：2019年9月13日（金）～9月17日（火）／回答者：20～40代で、結婚を希望している男女400名（男性200名、女性200名））。※1952年、日本銀行が、10月17日を勤労の収穫物であるお金を、無駄遣いせず大切にしようという意味を込め、制定されました。

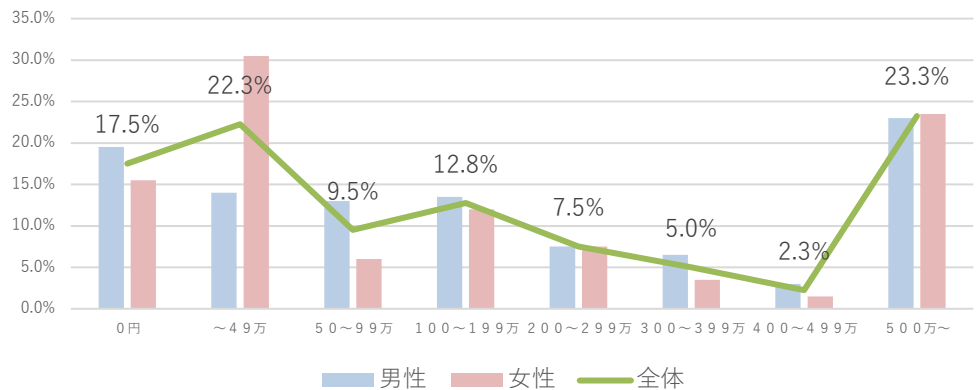
恋人がいない人の割合は約7割。現在の貯蓄額は貯めている人とそうでない人の差が出る結果に。

初めに「恋人はいますか？恋人がいる方は付き合っている期間を教えてください」と尋ねたところ、全体の約7割が「相手がいない」と回答しました。

続いて、現在の自身の貯蓄額を尋ねたところ、「500万円～」という回答が23.3%で最も多く、続いて「1～49万円」が22.3%、そして「0円」が17.5%となり、貯めている人とそうでない人の差が出る結果となりました。



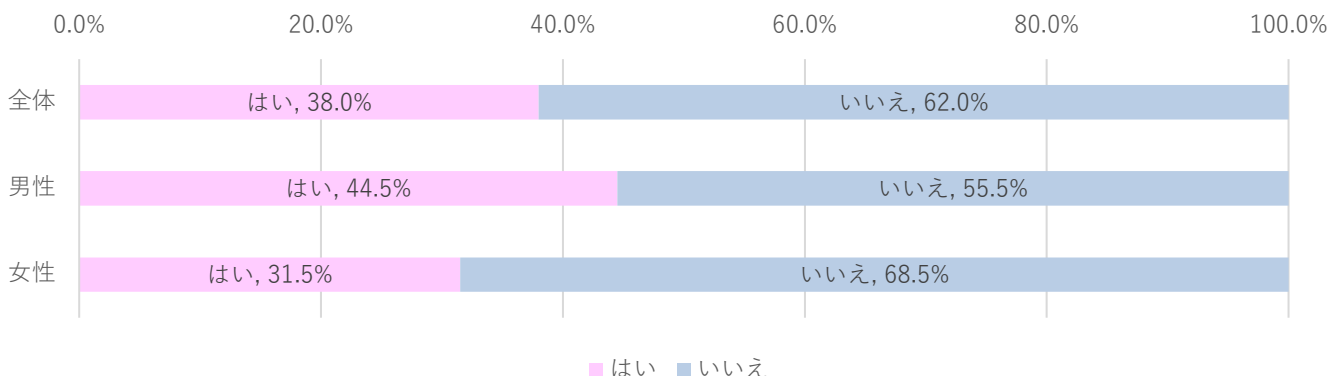
Q. 恋人はいますか？恋人がいる方は付き合っている期間を教えてください



Q. 現在の自身の貯蓄額を教えてください（男女別）

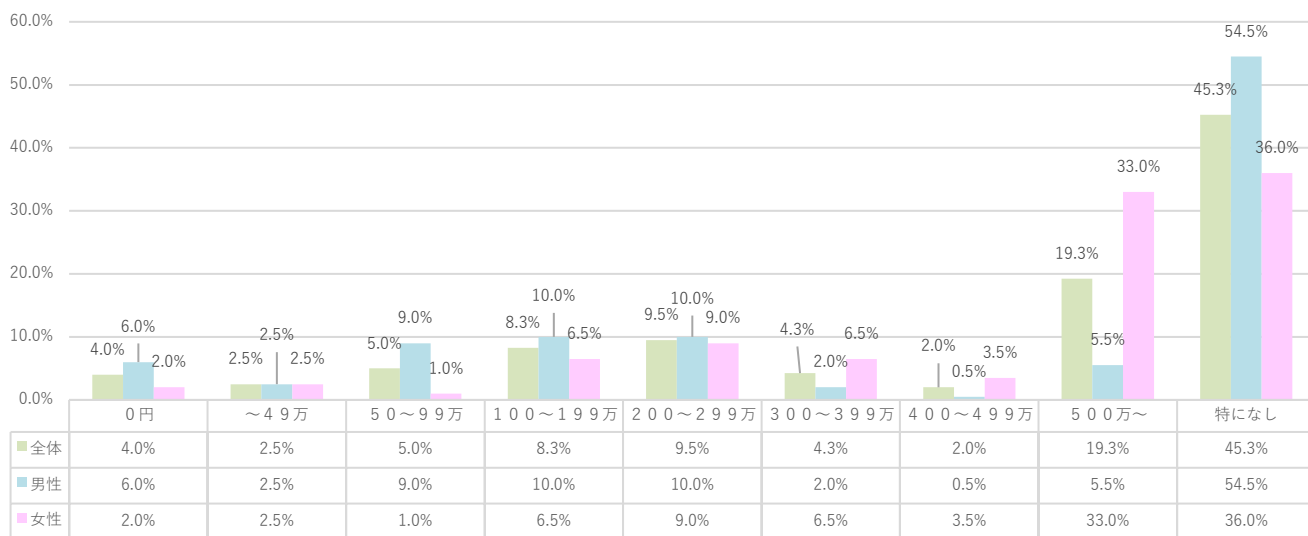
自分の結婚のために貯蓄している人は約4割。結婚相手に求める貯蓄額は男性が「特にない」54.5%、女性も「特にない」36.0%だが、一方で「500万円以上」求める人も33.0%と分かれる結果に。

「自分の結婚のために貯蓄していますか？」との質問には全体の38.0%が「はい」と回答し、男女別では、男性の44.5%、女性の31.5%が貯蓄しているという結果になりました。



Q. 自分の結婚のために貯蓄していますか（男女別）

ご自身に結婚相手（パートナー）がいる場合、相手に求める貯金額を尋ねたところ、男性は「特になし」が54.5%で最も多く、次いで「100~199万円」「200~299万円」が10.0%で並びました。女性は「特になし」が36.0%で多く、次いで「500万円以上」が33.0%と続き、男女で相手に求める貯金額に差があることが分かりました。



Q. あなたが相手（パートナー）がいる場合、相手に求める貯金額は（男女別）

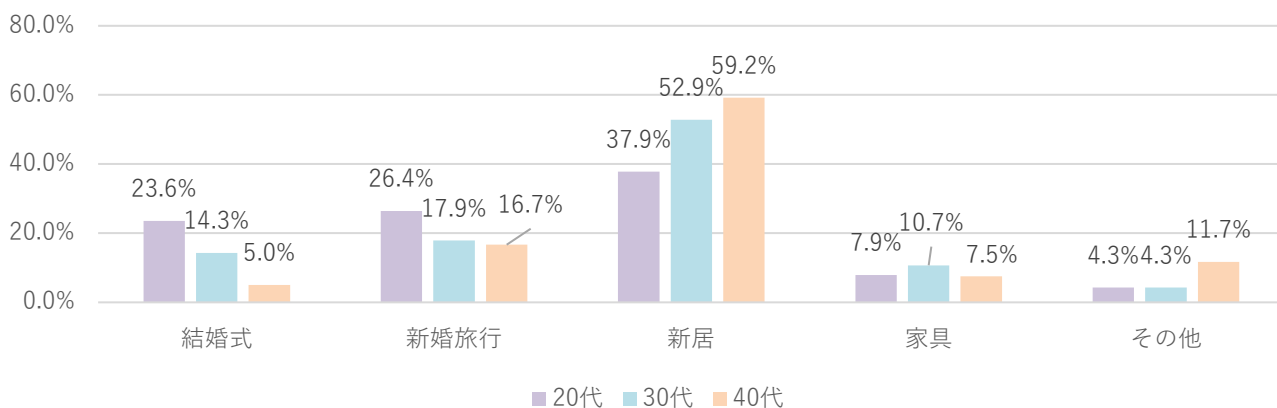
結婚が決まったら最もお金を使いたいのは「新居」！男女別では、男性の方が女性よりも新婚旅行を希望している割合が多い結果に。

「結婚が決まったら何に最もお金を使いたいですか？」と尋ねたところ、男女とも「新居」という回答が1位となりました。男女別でも2位は「新婚旅行」、3位「結婚式」となりましたが、男性の方が女性よりも新婚旅行を希望している割合が多いことが分かりました。

年代別では、40代の約6割は「新居」に最もお金を使うと回答しました。一方で、20代は「結婚式」「新婚旅行」に使うという割合が各年代の中で最も高くなりました。

	全体		男性		女性	
1位	新居	49.5%	新居	46.5%	新居	52.5%
2位	新婚旅行	20.5%	新婚旅行	24.0%	新婚旅行	17.0%
3位	結婚式	14.8%	結婚式	15.5%	結婚式	14.0%
4位	家具	8.8%	その他	7.5%	家具	11.0%
5位	その他	6.5%	家具	6.5%	その他	5.5%

Q. あなたは結婚が決まったら何に最もお金を使いたいですか（男女別）

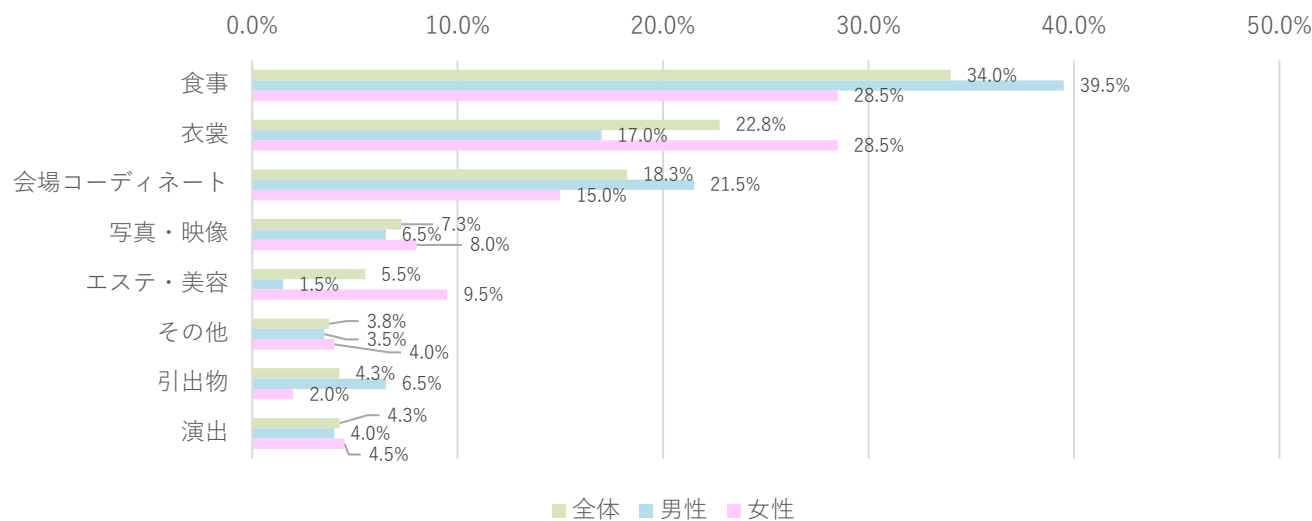


Q. あなたは結婚が決まったら何に最もお金を使いたいですか（年代別）

結婚式の中で最もお金を使いたいこと 1位は「食事」2位「衣裳」3位「会場コーディネート」。女性は「食事」

「衣裳」が同率に。

「あなたは結婚式の中では何に最もお金を使いたいですか？」と尋ねたところ、全体の1位は「食事」、2位「衣裳」、3位「会場コーディネート」となりました。男女別で、男性1位は「食事」が39.5%、2位「会場コーディネート」21.5%、「衣裳」17.0%となりました。女性は「食事」「衣裳」が同率で28.5%、続いて「会場コーディネート」15.0%となりました。

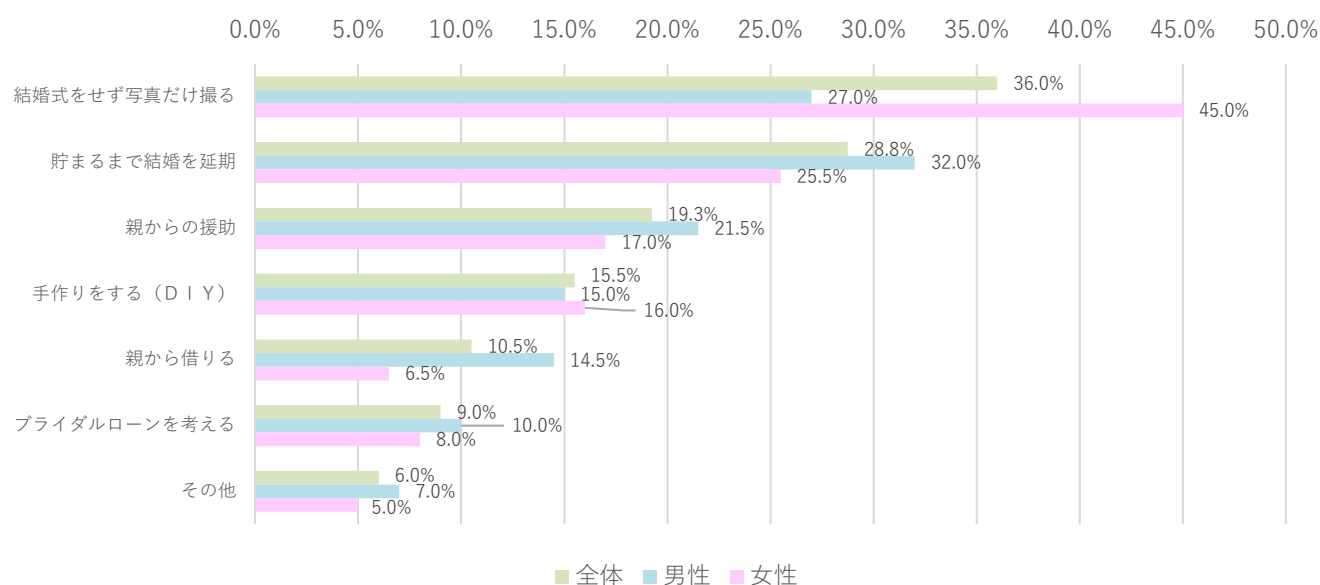


Q. あなたは結婚式の中では何に最もお金を使いたいですか（男女別）

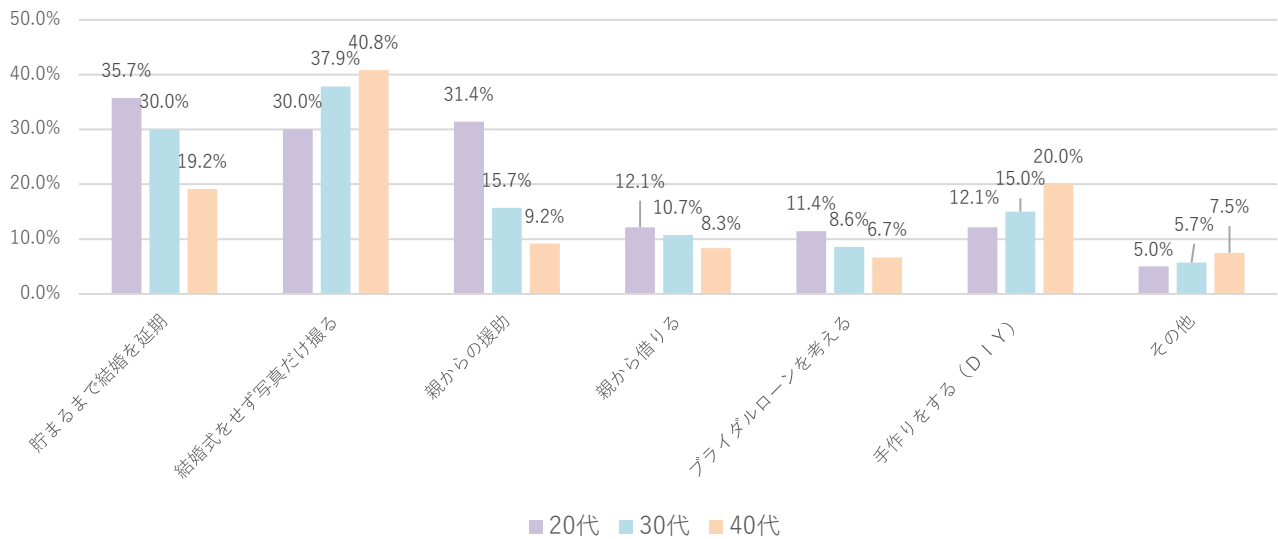
結婚式の費用が足りない場合、男性1位は「貯まるまで結婚を延期」、女性1位は約半数「結婚式をせず写真だけを撮る」を選択し、全体でもフォトウェディングが人気傾向に。

自分達の結婚式の費用が足りない場合どうするか、当てはまるものを全て選んでもらったところ、男性1位は「貯まるまで結婚を延期」が32.0%、続いて「結婚式をせず写真だけを撮る」27.0%、「親からの援助（を受ける）」21.5%となりました。一方、女性1位は「結婚式をせず写真だけを撮る」が半数近い45.0%、2位「貯まるまで結婚を延期」25.5%、「親からの援助（を受ける）」17.0%となりました。

年代別では、「結婚式をせず写真だけを撮る」「手作りをする（DIY）」が、年代が上がるにつれて割合が高くなり、一方「貯まるまで結婚を延期」「親からの援助」「ブライダルローンを考える」は、20代が各年代の中で一番割合が高くなることが分かりました。



Q.自分達の結婚式の費用が足りない場合どうしますか。当てはまるものを全て選んでください（男女別）



Q. あなたは自分達の結婚式の費用が足りない場合どうしますか。当てはまるものを全て選んでください (年代別)

■■本件に関する報道関係からのお問い合わせ先■■

ワタベウェディング株式会社 広報担当：飯村・田村・三浦・伊東 (080-6172-5684)
 TEL. 03-3288-4149 FAX. 03-3288-7315 E-Mail: public@watabe-wedding.co.jp
 ホームページ: <https://www.watabe-wedding.co.jp/company/press/> 【画像ダウンロードできます】